



慶心会『かいごの玉手箱』

この「かいごの玉手箱」では、慶心会の施設での介護職員や看護職員、栄養士などの取組みの一部を皆様にご紹介していきます。在宅で介護をされているご家族様にも参考にさせていただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症から一年を経過して

新型コロナウイルス感染確認から一年が経過しました。慶心会では、マスクや消毒液の備品確保とご利用者様・職員の健康管理に努めて参りました。また外出自粛や面会を制限してオンラインへの切り替えや、職員への感染症に対する勉強会の開催。慶心会独自の感染症予防対策7つの指針を作成して、事業所ごとに掲示とご利用者様、ご家族様、地域の皆様へ情報発信など新たな試みにも取り組んできました。間違った情報に惑わされず、正しい知識で正しく恐れることで、法人に関わる皆様の安全を第一優先に今日まで感染者0を継続しています。

慶心会は、「より快適な老後のライフスタイルを創造し社会に貢献する」をミッションに、また普通の生活に戻れるように、今できる最善の対策に取り組んで参ります。

慶心会の感染症予防対策7つの指針

1. 職員スタッフは、常時マスク着用して、手洗いうがいをを行い衛生管理をしています。
2. 職員スタッフと家族も、十分な睡眠を取り健康管理に努めています。
3. 施設内では、定期的に換気を行っています。
4. 施設内の設備や器具、車両等を定期的に消毒を行い清潔を保っています。
5. イベントや体操を行う際は、ソーシャルディスタンスを心掛けています。
6. 面会などLINEによるオンライン面会を実施しております。
7. お食事の際は、フェイスシールド及びマスク、三角巾、エプロンを着用して衛生管理に努めています。



ご家庭に役立つ新型コロナウイルス感染症に関する情報

- 厚生労働省は、新型コロナワクチンの一般接種は早くも4月下旬から始められるように準備を進めています。(2月下旬は医療機関のみです。)
- 受けられる場所は、原則として住民票所在地の市町村の医療機関や接種会場で受けていただくことになります。
- 新たに新型コロナウイルス変異種感染症。変異種の特徴は、咳や喉の痛みといった症状が出やすく、一方で味覚や嗅覚の異常を訴える傾向は少ないことが特徴です。
- 従来型のウイルスに比べて感染力が50～70%高いとされています。



～ご不明な点や質問があれば、お気軽にご相談ください。～ 担当/栗林・佐藤